

OBD 検査システム・検査用スキャンツール技術連絡会の設置について

1. 背景・目的

- 検査用スキャンツールは、(一社)日本自動車機械工具協会(機工協)がツールメーカーからの申請に基づき型式認定を行った製品でなければ、OBD 検査に使用することができない。
- 検査用スキャンツールは、①(独)自動車技術総合機構(機構)が開発・管理する OBD 検査システム、②OBD 検査対象車、③PC の OS (Windows) 等に対応するため、必要に応じてソフトウェアアップデートが行われる。この際、機工協は、アップデート後の検査用スキャンツールが引き続き OBD 検査に使用できることを確認している。(必要に応じて再試験も実施)
- ツールメーカー側にとって①～③の事項は他律的な条件であることから、必要なソフトウェアアップデートが切れ目なく行われることを関係者全員の責任で確保するため、以下の環境を恒常的に整える枠組みが必要である。
 - (1) ツールメーカーが、ソフトウェア等を開発するために必要となる①～③の情報を十分な時間的余裕をもって入手できること。
 - (2) ツールメーカーが必要なソフトウェアアップデートを確実に行うことを、型式認定制度において担保すること。
 - (3) OS 更新など大規模な改修を要する事項について関係者の役割とスケジュールを共有化すること
- 同様の取組で先駆的な米国カリフォルニア州 BAR¹の枠組みも参考とする。

2. 関係者連絡会の設置(案)

- 名 称： OBD 検査システム・検査用スキャンツール技術連絡会
- 構 成 員： 国土交通省物流・自動車局自動車整備課
 (独)自動車技術総合機構 OBD 情報・技術センター
 (業務委託先である PwC、NEC を含む)
 (一社)日本自動車機械工具協会(機工協) (事務局、協会員)
 (一社)日本自動車機械器具工業会(自機工) (事務局、協会員)
- 開催頻度： 四半期ごと(必要に応じて追加で臨時開催)
- 検討事項： ・OBD 検査システムの改修予定について
 ・型式認定制度の見直しについて
 ・ISO13400 への対応について
 ・OS 更新への対応について
 ・ソフトウェアアップデート等のユーザーへの周知について など
- 事 務 局： 機構 OBD 情報・技術センター

3. 今後の予定

- 令和6年3月 連絡会の設置を承認(第5回 OBD 検査準備会合)、構成員決定
- 4月 第1回連絡会の開催

¹ Bureau of Automotive Repair, part of the Department of Consumer Affairs